

常盤塾

日時：2014年9月23日（土）10：00～13：00

場所：新国際ビル MBF ハウス

文責：常盤塾ライター 福井悠太

（1）常盤先生の話

●常盤さん

花王の50周年記念でバンコクに行っていた

タイの情勢はインラク首相に反対したデモがあって、五月に新政権ができて、、、

ニュースの影響と実体は違う

デモが長くなると、やっつけられないという感じになって、屋台なんかもでき、現地は割と平静でしたと聞いた。他の国が外から言っているのと実情は違う。

ニュースと現場の違い

軍政はしっかりしていて、大丈夫と考えられている

チャイナ+1からタイ+1になってきている

東南アジアで一番外資の進出が多いのはタイ、その中で一番多い外資が日本

バンコクの北東に工業団地が伸びていっている

実情はしっかり成長している

中小企業が地方銀行とともにタイに進出している

タイ人が十分なマネジメント能力を持つようになってきたので、マネジメントはタイ人、開発は日本人に、という流れができています

タイが物流をはじめとして経済の要になっている

東は日本、中国から、西はポルトガルまでがつながる構想の中で、タイが果たす役割が増加していく

タイは有望で、今後のグローバリゼーションの中で大きな役割

今後西と東はつながる

●昌子さん

前首相は女性だったが、タイにおける女性の社会進出は？

日本では輝く女性ということで数値目標が設定されているが。

●常盤さん

女性に大きく注目するのは男性差別になる笑

女性と男性の区別をしない方がいい

区別せずにいいモノはいいとする方がいい

日本人にとっての質は心の質。作ると売るのが呼応する商品を作っていないといけない。

機能や性能、数値を超えたものに質の本質がある

例えばの話をする、レストランなんかでは味は同質化していて、あまり差がないとしても、愛想やサービス、雰囲気づくり、お客さんへの気配りが勝負を決める

99%同じでも、最後の1%に質を作る余地がある

これが今後の日本の生きる道であり、従来得意なことである

生産と販売の距離が縮んできた

結局は自分たちの利益しか考えていない

自分で作って自分で売るという大きな流れができている

(たとえば農業とか)

6次産業っていうのが流行っているのが

通販っていう形式も増えている

●昌子さん

ケアにおいても心の質は大事。ただ、それに伴うコストをどう考えるか？

●常盤さん

コストを超えたモノなので、コストという考えがおかしい

●松永さん

お金よりもプライド。組織の志が大きく寄与するケースの方が多い。

●昌子さん

医療費の増大を抑えたい動きとコストがすごくかかる医療というものにどうやって心を入れていくか？

●松永さん

北欧では、患者に触れることも重要な治療。

●昌子さん

医療側は現実的な問題として忙殺されている現場ではそれすらコストがかかるとしているのだが。患者さんの肩に手を置く気遣いが心

日本医師会はそれすらコストがかかると言っている

TED MED

医療と脳をどう考えるか

気持ち、心の寄り添いによって、効果が全く違う

●古城さん

ブランド品もそう

●常盤さん

従来の攻め方ではお客さんに失礼

●松永さん

タイのクーデターは途上国から中進国へ移行するなかで起こった政治が不安定でも、経済が回れば、国としては何とかこなってしまう事例とも言われていたが、そこが崩れたという見解がある。

●常盤さん

軍事政権もしっかりしていて、実状は大したことがないので、大丈夫では

●丸山さん

エリート層とそれ以外の格差が大きいので、考え方も違う

●松永さん

アセアンは、多様な社会や国家が地域経済圏を作ろうと進めており、コネクティビティがキーワードになっている。

●常盤さん

タイはそう考えても重要

(2) 昌子さんの発表

発表資料参照

●丸山さん

ワールドランキングにおける医療機器とはどんなものがふくまれるのか？

●昌子さん

診断用の機器、ヘルスケアなので含まれていない

●常盤さん

医療機器がアメリカがほとんどを占めている現状は、挑戦し甲斐がある、マーケットが大きいと考えるべき

日本が出ていく余地が大きい

●常盤さん

レシピがわかっているけど、本当においしい料理はできない
形だけを真似するのではなく、自分たちが考えないといけない

●昌子さん

トップが考えていくことも必要

●常盤さん

トップトップというが、ソニーもトップはしっかりしていた
トップが考えたことに、部下がついていく文化が重要

●古城さん

しっかり考えたことをしっかり評価されないといけない

●常盤さん

体験や実験をやって終わりだけではなく、目標や思いをどう伝えるか
ブランドも同じで、商品の裏にある思いをどれだけうまく伝えられるか
企業に何人が来ましたという数字が増えればいいわけではない
自分たちの行動を通して、思いを伝える

●常盤さん

モノづくりの心

あなたは何を目指して物をつくっていますか、と聞くと
株主、従業員の為が多い、ほかには地域貢献など
ニベアの社長は『ブランドのため』と答えられた
ブランドを盛り立てることが、会社を盛り立てることにもなる
ブランドには働く目標がある
日本で売れるかと調査した時に、賛成 30%反対 70%であったが、
ニベアは 30%もいいという人がいてよかったと喜んでいた
数ではなく、作り手に心があるかどうかということを表す事例である

●白井さん

あれだけ長寿でいると信頼できる

●松永さん

ブランドがぶれなければ、職もぶれない。ぶれないという点が素晴らしい。

●昌子さん

ブランドがぶれない仕組みをつくる

●常盤さん

新入社員が入ってきたときに、仕組み、文化、風土があるとそのブランドに染まっていける

●松永さん

銀座 伊藤屋の社長が、新入社員の研修をどうやっているかと質問されたときに、売り場に雰囲気があるから新入社員でも一週間もいれば顧客対応の本質は学べると答えられた。

●常盤さん

教育は先輩の背中を見せること
かつては職場に言わず語らずにも雰囲気があった

●松永さん

山中さんもアメリカで働けば何倍の給料が得られたはずであるが、日本に拠点を置いている。

●丸山さん

J&J はトップは生え抜きか外から来ているか

●昌子さん

多くは生え抜きだと思う。

●丸山さん

完全に外から来た人がクレドを理解できるのか

医療機関はどうして医療機器を導入するのか

●昌子さん

目利き部門があって、ベンチャーの最新技術に目を配っている

●丸山さん

日本はかつての家族的なつながりがなくなったから、弱くなったと中小企業の方が言っていた

J&J はそのようなところがあったので強いのでは

●常盤さん

目利きはそもそもいいものを見つけるだけで、面倒を見るものではない

川上から川下まで

情報の成果を売るのが会社だが、情報をオープンにしたらいいいものが作れたということもある

何が BEST かはわからない、曲がり角に来たら曲がってみる勇気が経営には大切

●古城さん

曲がりなりに、笑

●常盤さん

人から学ぶ謙虚さがあるかでもだいぶ違う

削除●松永さん

おごりは怖い

●古城さん

ぶれないのは大事

いろいろな曲がり角でぶれていたら経営としてダメ

●常盤さん

大企業だから、というおごりがあると伸びていかない

削除●松永さん

ソニーではお金にならない携帯事業でも延命治療をおこなっていた

曲がった角になにもない

●常盤さん

曲がった角に夢がある経営をすることが求められている

テレビで伸びて、テレビで滅ぶ

テレビが好調で伸びたので、それにこだわってしまい経営転換のタイミングを逸してしまう

結局安売りして、お客さんも安売りだけでは反応しなくなる

マラソンの折り返し地点でまだまっすぐ走り続けているという事態になりかねない

●昌子さん

会社が長続きしているのはすごいこと

●松永さん

医療は対象範囲がさらに広がるので、今後目利きと倫理観が問われるようになる

●昌子さん

どのような技術を組み合わせるかの情報を選択しないといけない

●松永さん

レセプトだけでは本当のことは見えない。診療行為そのものの情報が本来は重要。

●昌子さん

マイナンバー制はどうか

●松永さん

そんな簡単にはできない。機微情報があつて、そっちの方がよっぽど怖い
北欧では国民が家族という意識が根底にあり、日本とは違ったオープンな環境もある。
何が良いのかの基準が違っていて、急には変わらない部分もある。

●常盤さん

医療費が増えているが、無駄は多い気がする

●松永さん

街のお医者さんは CT を持っているが、施術するのは大病院。その投資費用の回収という状況もあり、地域のトータルのインフラのバランスという課題もある。

●常盤さん

医は仁術から産術になってきた

(3) 次回以降の取り決め

●常盤さん

グループジーニアスってなんだっけ

●古城さん

グループジーニアスは一人の天才よりも、凡才が多く集まった方がいいということ
集団が天才

●常盤さん

今日、三人くらいで決めた方がいいのでは

●松永さん

学生も読んだらしいので、ぜひ参加してもらうのもよいのではないかな

●丸山さん

本は決まっていて、日程をどうするか

●常盤さん

人が大事というけど、個人ではなく、集団としての人が大事だということ
本は「凡才の集団は孤高の天才に勝る」でいこう
松山さん、最近やっていないからやればいい笑

●丸山さん

言いだしっぺの川手さんにやってもらおうことで

●常盤さん

川手さんに言いだしっぺだからやってもらおうと伝えて、もし断られたら松山さんがやるということで。

●古城さん

三部だから三人いれば大丈夫

●松山さん

次回はできるけど、今回はできない

●若林さん

川手さんをお願いして無理なら学生がなんとか
凡才の学生でも集まれば天才ということで、、、笑
今後の予定は基本第二土曜日で

1月10日、2月14日、3月14日ということで

●丸山さん

冊子は今田さんがまとめたもので、大きな塊別で書いた
しかし、それを起承転結でまとめなおすのは大変そう

●常盤さん

結が続いている限りないというのはダメか
とりあえずやってみないといけないので、このやり方でいいか
フィールドはまとめてはないの

●丸山さん

分類はしているけど、まとめてはいない
各話題にフィールドがある

●常盤さん

それぞれに250字以内というような制約で揃えないとみっともない
この時数も相談しないと

●古城さん

絵も入れた方がいい

●常盤さん

それはいい、全体図などもいれたい
字数は2行も変わったらダメ

●丸山さん

字数は230字程度でどうでしょう
次回までに、フィールドと本などの分担を決めてきます

●常盤さん

みんなでやっているんだから、みんなに同じくらいの負担を負ってもらわないと
ページ一枚が 600 字なので、一つ 300 字程度がよい。

分担の枠を決めてもらいたい

文体をそろえるなどしてくれる人が一人必要

●松永さん

みんなが持ち寄るということなら、表現は違うということもいいのでは

●常盤さん

それもよいが、やはり読みにくい

本としてはタブーなのでやはりそろえたい

とりあえず、形に残したいということだけど

エッセイは 800 字

人に聞かずに先に決めよう

前に進める案を次回提出するというこ